



令和7年度の大豆栽培の ポイントについて

甲賀農業農村振興事務所

令和7年度の大豆栽培のポイント

大豆は“ 初期の生育不良 ” が生育の後半まで影響します

基本技術の励行で堅実な大豆栽培を！

【基本技術】

- ① 排水対策の徹底、酸度矯正でほ場を準備
- ② 適期播種の実施
- ③ 種子消毒と雑草防除の徹底
- ④ 遅れないように早めに中耕培土
- ⑤ 発生に応じた病害虫の適期防除

ほ場準備

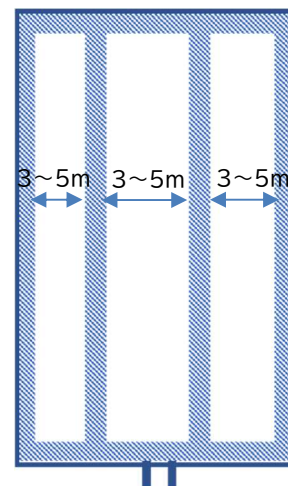
排水対策

《 重要 》

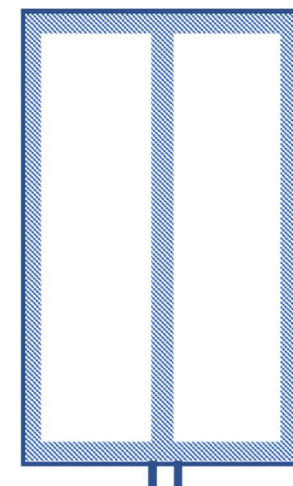
麦跡栽培では、麦作の排水溝を点検し、必ず排水を良好にする
排水溝は、ほ場の乾湿に合わせて追加で設置(うね幅 3m ~ 5m)

- ▶ 排水対策が不十分だと、
湿害 や 雑草の繁茂、
作業の遅れ等を引き起こし、
生育不良に繋がる

排水対策が十分ではないほ場



十分に排水が確保されたほ場



排水確認チェックリスト

排水溝の点検と修繕を行い、表面排水を促しましょう！

□ 額縁明渠は崩れていないか



□ つなぎ目はしっかり繋がっているか

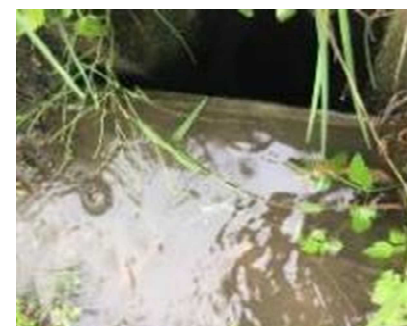
※特に堀はじめや堀終わりの部分、四隅



□ 尻水戸の前を掘り忘れていないか



□ 止水板の取り忘れはないか



播種作業等で崩れた土も、スコップなどで上げて水の通り道を確保してください

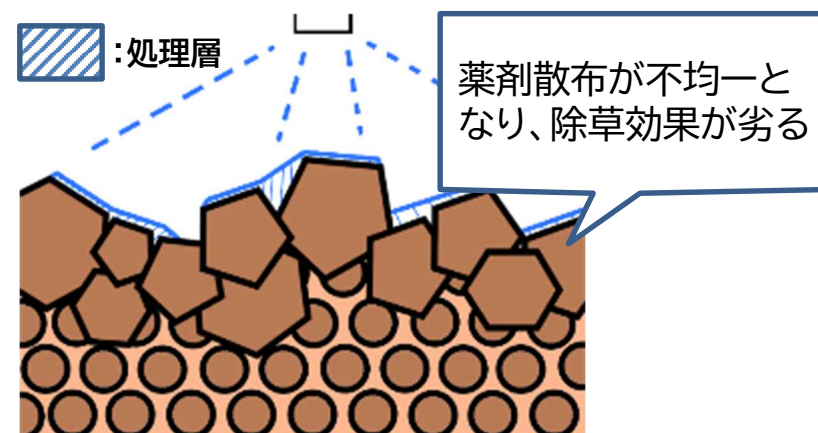
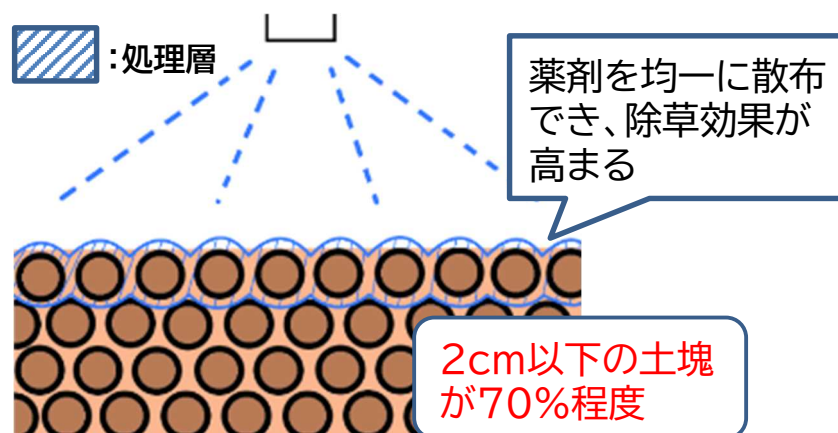
ほ場準備

土壤改良資材の散布

大豆は酸性土壤に弱いため、くみあい粒状ハレー28を
10aあたり100kg 散布

耕起・砕土

土塊を細かくすることで、除草剤の処理層が
しっかり形成され、除草効果が高まる。



播種

大豆は 播種時期の影響 が大きい

早播きすると…

倒伏 や 青立ち症状 が
発生しやすくなる



播き遅れると…

生育量が不足し、収量低下
や 雑草の増加 に繋がる



天気予報を参考に適期を逃さず、播き遅れない！

■播種適期：6月25日～7月15日

■播種量：3～4kg / 10a

※播き遅れた場合は播種量を1kg/10a増やしましょう！

種子消毒(紫斑病及び鳥害予防対策)

クルーザーMAXXを
乾燥種子1kgに対して8ml塗沫

薬剤名	作物名	適用病害虫	使用方法	使用液量
クルーザーMAXX	だいず	アブラムシ類、タネバエ、ネキリムシ類、フタスジヒメハムシ、莖疫病、リゾクトニア根腐病、苗立枯病、紫斑病、黒根腐病、白絹病	塗沫処理	乾燥種子 1kg当り 8mL

種子消毒を行い

- ・安定した苗立ちと初期生育を確保
- ・生育初期の病害虫防除を徹底

雑草対策 : 播種前～播種直後

雑草防除のポイント①

雑草よりも先に大豆の生育を確保

大豆が先に大きくなれば、日光を遮り雑草にとって生育しにくい環境となる



日光が当たらず、雑草が育ちにくい

■播種前の雑草対策

麦収穫後から大豆播種までに雑草が多い場合は、ラウンドアップマックスロードなどを散布し、あらかじめ枯らす

■土壌処理剤

ラクサー(乳剤・粒剤)またはトレファノサイド(乳剤・粒剤2.5)をは種直後から出芽前(雑草発生前)に、ほ場全体に均一に散布

雑草対策 : 中耕培土

- 雑草の発生に応じて遅れないよう早めに実施。
ほ場条件により時期、回数を選択。

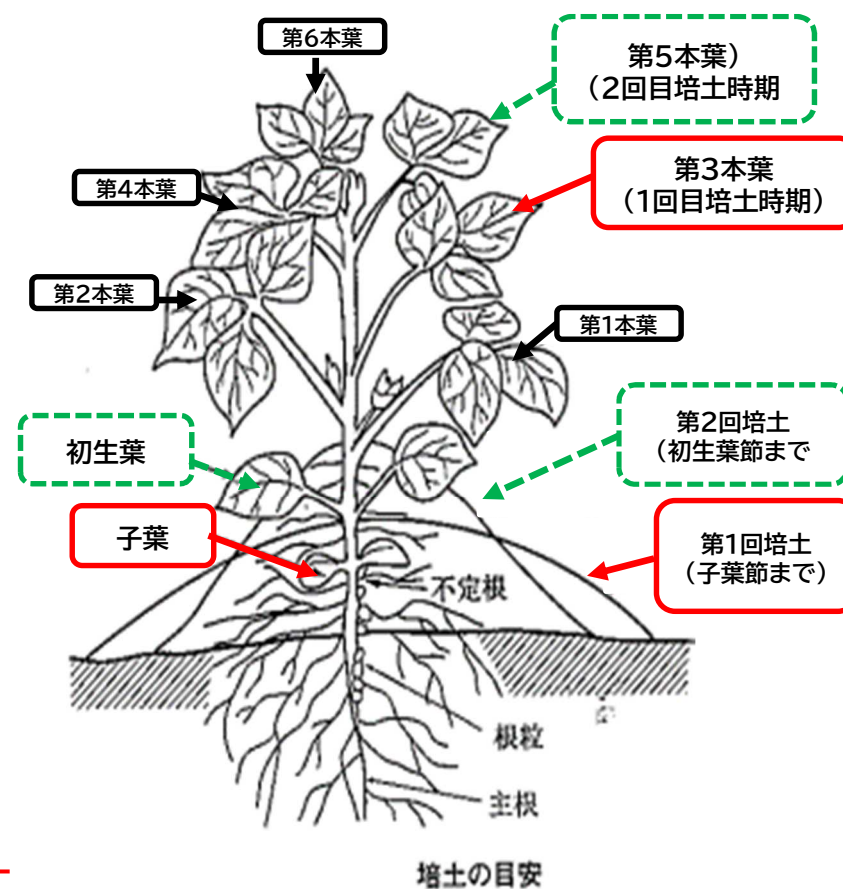
- 基本は次のとおり。

1回目…7月下旬に本葉3葉期に
子葉節の上まで培土
(播種後20日頃)

2回目…8月上旬に本葉5葉期に初
生葉節の上まで培土
(播種後30日頃)

※注意

作業が遅れると根を傷つけ逆効果
となってしまうため開花1週間前までに
作業を終わましょう

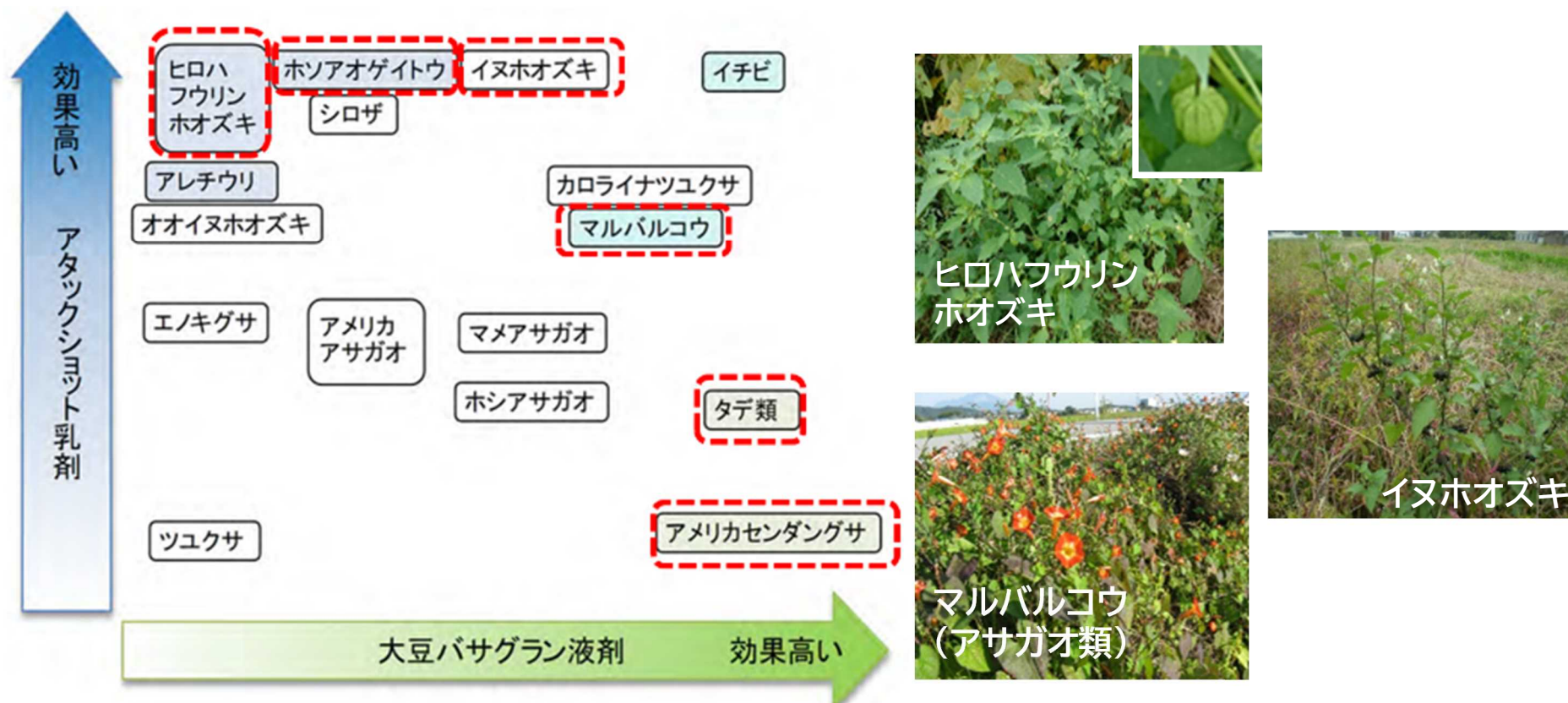


雑草対策 : 雑草に対応した剤の選択

雑草防除のポイント②

除草剤によって、効果が高いと言われている雑草の草種や葉齢が異なるので、優先雑草を確認し薬剤選定しましょう。

【注意】農薬を使う前には必ず農薬のラベルを確認し、正しく使用してください



雑草紹介①

効果が高いとされる除草剤
アタックショット乳剤

大豆バサグラン液剤

○イヌホオズキ類

【特徴】

- ・出芽:4～7月 花期:8～10月
- ・寒さに強く降霜期まで枯れない
- ・ソラニンを含む有毒植物

【果実・種子】

- ・8,000個以上/株の種子生産量があるとのデータも…
- ・種子は土中でも4年半生存する場合もある





雑草紹介②

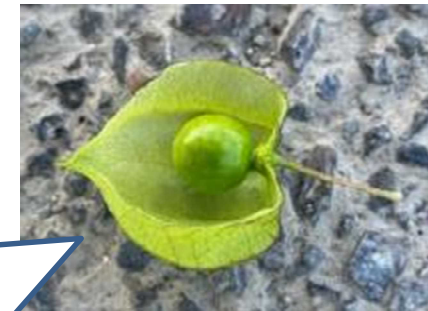
効果が高いとされる除草剤
アタックショット乳剤

大豆バサグラン液剤

○ヒロハフウリンホオズキ

【特徴】

- ・出芽:5～8月 花期:7～10月
- ・実は袋に包まれ、中に果実がある。
- ・寒さに強く降霜期まで枯れない。
- ・茎葉の水分含有率が高い。





ホオズキ類
(ホソバフウリンホオズキ)

雑草紹介③

効果が高いとされる除草剤
大豆バサグラン液剤

アタックショット乳剤

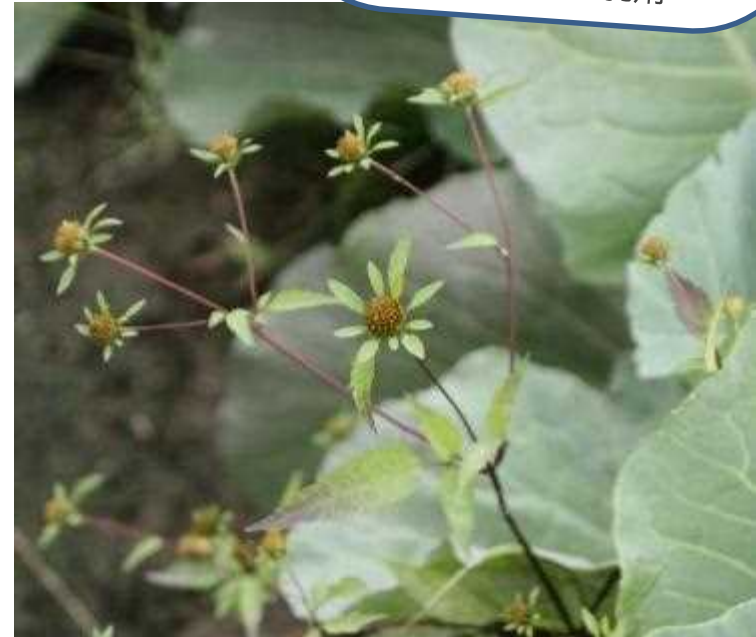
○アメリカセンダングサ

【特徴】

- ・草丈は50～150cmになる。
- ・秋に花を咲かせ、黄色の頭花をつける。

【果実・種子】

- ・果実は扁平であり、先端に2本の棘がある。





雑草紹介④

効果が高いとされる除草剤
大豆バサグラン液剤

アタックショット乳剤

○オオイヌタデ

【特徴】

- ・茎先に花穂を出し、淡紅色～白色の小さな花を多数つける。

【果実・種子】

- ・瘦果は扁平な円形で黒褐色。





(C) KIMURA SATORU

雑草紹介⑤

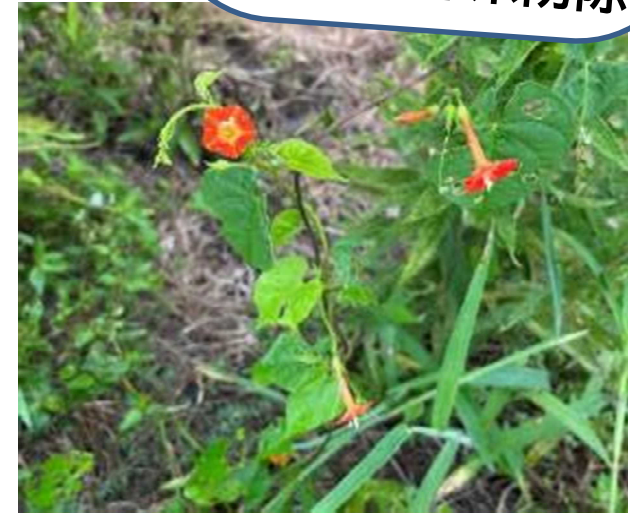
！難防除雑草！
大豆が大きくなるまで
「つる」を作らせな
いように体系防除

○マルバルコウ

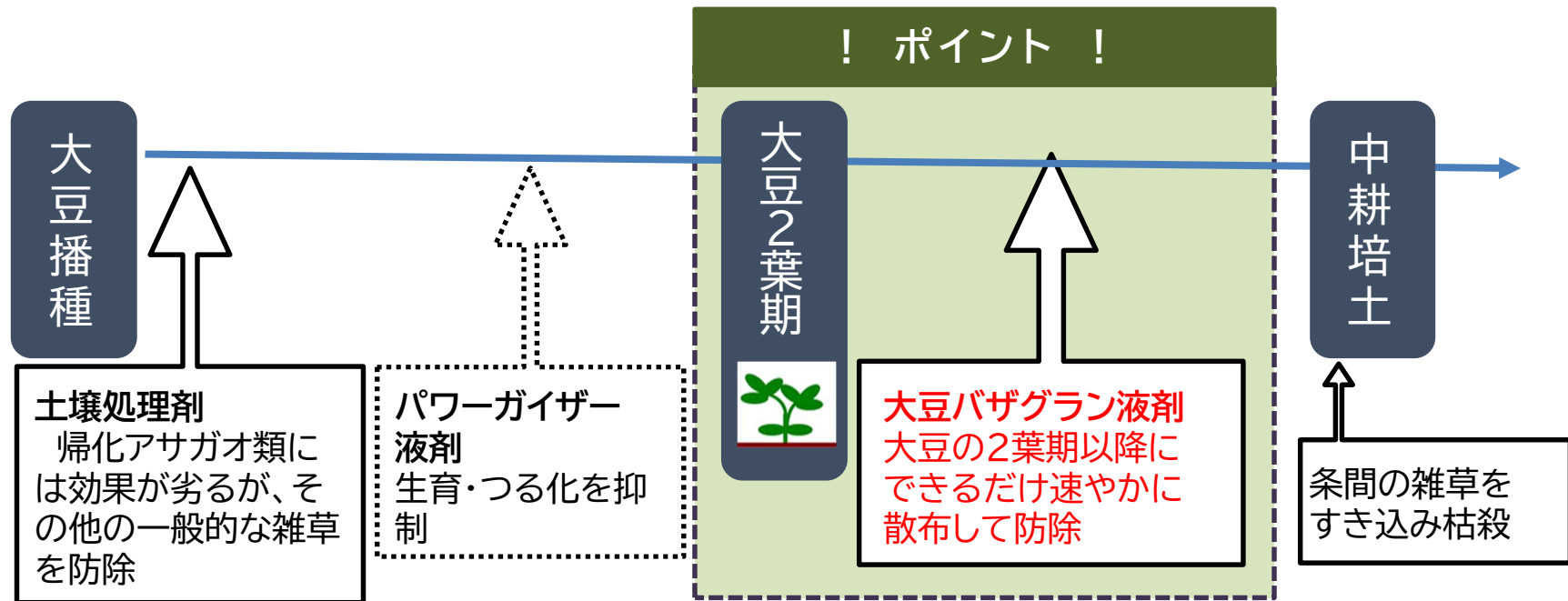
【特徴】

- ・出芽後2～4週間で「つる」になる
- ・つるが絡みつки、収穫作業の
阻害や生育阻害の原因となる
- ・つるが出てくると「大豆バサグラン」
などの除草剤の効果が落ちる

▼
「つる」がでる前に防除！



帰化アサガオ類の防除のポイント



除草体系の例: (参考) 農研機構

土壤処理剤や茎葉処理剤、中耕培土を組み合わせ 「つる」が出るまでに防除！

・中耕培土以降に発生する個体はアタックショット乳剤で防除



写真はマメアサガオの子葉

病害虫防除

基本の防除体系

防除時期：

8月下旬～9月中旬
(開花期～子実肥大期)

■病害虫の発生状況に応じて
2～3回実施



夏季の高温により、病害虫の発生期間が長く、発生期間も長期化しています。

注意報や警報発表時、ほ場内での発生が多い場合は、追加防除をおすすめします。

紫斑病

開花後30日頃を重点に、
前後の期間が防除適期



ハスモンヨトウ

老齢になるほど、殺虫剤が効きにくくなり
ます

白変葉に群がっている(若齢)時期にしっ
かりと防除しましょう

写真のような白変葉が
増え始める頃に防除を
行いましょう



若齢



老齢



吸実性カメムシ類

莢が柔らかい時期(若莢期)の被害

莢が落ちる場合が多く、**青立ち症状**の原因になる

莢が膨らんでくる時期(子実肥大期)の被害

形が大きく変形し、**被害粒**になる

イチモンジカメムシ



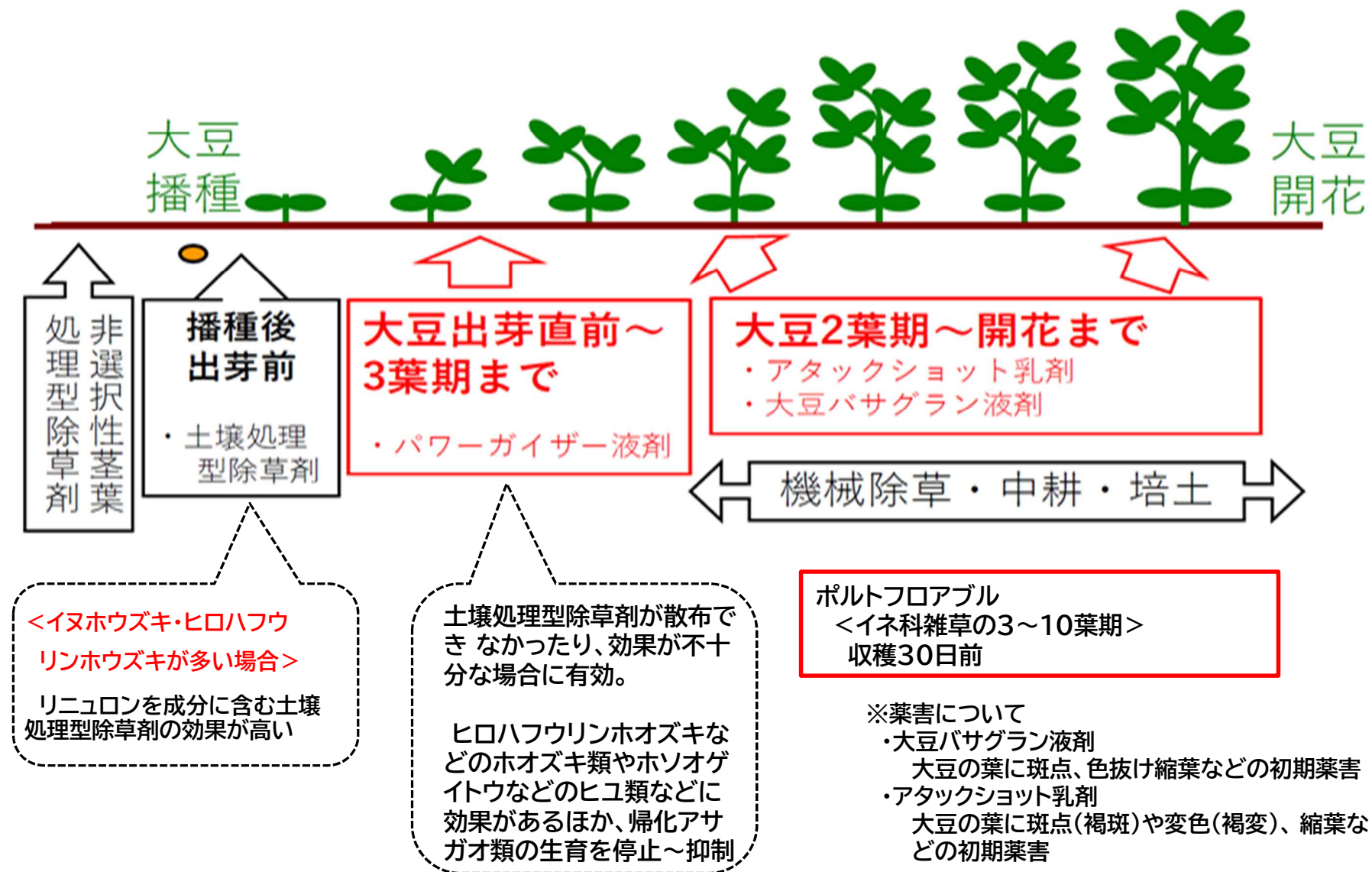
ホソヘリカメムシ



ミナミアオカメムシ



<参考> 除草剤体系



除草剤は草種や発生状況にあわせて選択を！



基本技術を徹底し、増収を目指しましょう！

別記資料 **注意】農薬を使う前には必ず農薬のラベルを確認し、正しく使用してください**

除草剤登録内容一覧

■ホオズキ類、ヒユ科（ケイトウなど）雑草に効果が高い

アタックショット乳剤

対象病害虫	使用量・希釈倍率 (括弧内使用液量)	使用回数上限	使用 回数	使用方法
一年生広葉雑草	30～50ml (100ℓ/10a)	本葉2葉期～開花前 (雑草生育期) 但し、収穫45日前まで	1回	雑草茎葉散布 または全面散 布

■タデ科雑草、アメリカセンダングサに効果が高い

大豆バサグラン液剤

対象病害虫	使用量・希釈倍率 (括弧内使用液量)	使用回数上限	使用 回数	使用方法
一年生広葉雑草 (イネ科を除く)	100～150ml (100ℓ/10a)	本葉2葉期～開花前 (雑草の6葉期まで) 但し、収穫45日前まで	1回	雑草茎葉散布 または全面散 布

※農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在

別記資料 **注意】農薬を使う前には必ず農薬のラベルを確認し、正しく使用してください**

病害虫防除(殺虫殺菌剤登録内容)

[防除の案]

散布時期	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍率 (括弧内使用液量)	使用回数 上限
開花期頃 (8月下旬)	フタジヒメハムシ カメムシ類 ハスモンヨトウ	トレボン粉剤DL ※	4kg/10a	2
		トレボン乳剤 ※	1000倍(100～300ℓ/10a)	2
開花20日後頃 (9月上旬)	紫斑病 カメムシ類 ハスモンヨトウ	トライトレボン粉剤DL ※	3～4kg/10a	2
		アミスタートレボンSE ※	1000倍(100～400ℓ/10a)	2
若莢期～ 子実肥大期 (9月中旬)	ハスモンヨトウ カメムシ類	ミネクトエクストラSC	10000～12000倍(100～300ℓ/10a)	2

[注意報や警報発表時、多発時]

散布時期	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍率 (括弧内使用液量)	使用回数 上限
9月上旬～ 10月上旬	紫斑病	トライフロアブル	1000倍(100～300ℓ/10a)	2
		ファンタジスタフロアブル	1000～2000倍(100～300ℓ/10a)	3
8月下旬～ 9月中旬	ハスモンヨトウ	プレバソンフロアブル5	4000倍(100～300ℓ/10a)	2
		ブロフレアSC	2000～4000倍(100～300ℓ/10a)	3
9月上旬～ 10月上旬	カメムシ類	キラップ粉剤DL	3kg/10a	2
		キラップフロアブル	2000倍(100～300ℓ/10a)	2

※イトフェップ ロックス(トレボン)をふくむ剤の散布は、合計で2回以内まで
※農薬登録内容は原則令和6年10月2日現在